



ジョウビタキ号

《私が子どもだった頃》（後編） 西大道在住 藤田啓次

六浦駅のところから久木のあたりまで、今はバラ線になっていますが、山の尾根伝いに万年塀がずっとありました。青い色をしていたので、私たちは青壁と呼んでいました。塀を隔てた池子側には米軍の兵隊が鉄砲を持って巡回していました。池子の森は、人が入らないので良い自然薯が沢山あったそうです。朝比奈を中心にプロの芋掘りたちが山に入っていました、ここだけは聖域でした。

今の青木製作所の奥には高梨牧場があって牛を飼っていました。そこにも自噴式の大きな井戸があって、段々になったプールのようなコンクリの水槽に水を溜めていました。その水槽で金属製の入り口が丸い大きな容器に入った搾り立ての牛乳を冷やしていました。その牛乳を一升瓶を持って買いに行かされました。

環状4号線は砂利道で所々がコンクリで固めたような道でした。でも、私が中学の頃にはバスが走っていました。バスと言っても煙突から煙を吐き出しながら走る木炭バスでした。発展途上国の写真にあるようにバスの後に人がぶら下がって乗るような状態でした。



ジョウビタキ（扇鵯、常鵯）

学名： *Phoenicurus aureus*

日本全国で冬鳥として観察することができる。暖かい時期は、中国東北部やロシア東部沿岸で繁殖をしている。特徴は、オスは頭上が灰白色で腹部がオレンジ色、メスは全体的に灰褐色である。雌雄共通の特徴として、翼に白斑がある。林縁や田畑などで比較的にみることができる。

解説： 瀧本宏昭

兄の話^{ふなこし}を聞くと、船越^{ふなこし}から金沢八景^{きんざわはっけい}に泳ぎに行く時は、国道16号線^{こくどういちじゅうろくごうせん}を通るのではなくて海の方^{うみ}を歩いて行って^{いって}いたようです。その頃は、横浜^{よこはま}の三溪園^{さんせいえん}から杉田^{すぎた}、富岡^{とみおか}、八景^{はっけい}の海岸^{かいがん}は海水浴場^{かいすいよくばうじやう}として賑わって^{にぎわって}いました。杉田^{すぎた}までは、キリンビール^{きりんべいる}の工場^{こうじやう}がある生麦^{なまむぎ}から市電^{しでん}が通って^{とって}いました。川崎大師^{かわさきだいし}に行く線^{せん}が京浜急行^{けいひんきゅうぎやう}、日の出町^{ひのひだりまち}のトンネル^{とんねる}を境^{さかい}に横須賀側^{よこすかがわ}が湘南電車^{しやうなんでんしゃ}でした。その後^{そののち}、全ての線^{せん}が京浜急行^{けいひんきゅうぎやう}になりました。

私は、大道小学校^{だいどうしょうがっこう}の10期^{じゅうき}の卒業生^{そつぎやうせい}ですが、当時の校舍^{がくしや}は木造^{きぞう}で田舎^{いなか}の学校^{がっこう}という感じ^{かんじ}でした。今^{いま}、井戸掘り^{いどほり}をやっている辺り^{へり}に用務員室^{ようむぎんしつ}や食堂^{しきやう}があり、給食^{けいじき}では米軍^{べいぐん}が配給^{はいきゅう}した脱脂粉乳^{だつしふんにゆう}をよく飲ま^{のんで}されました。衛生状態^{えいせいじやうたい}が悪く^{わるく}、当時の小学生^{しょうがくせい}はみんな虱^{しらみ}を持^もっていましたので、駆除^{くじょ}のためにDDT^{だいてい}の白い粉^{こな}を背中^{せなか}や頭^{あたま}にかけられて^{かけられて}いました。野菜^{やさい}の肥料^{けいざい}は、化学肥料^{がくがくけいざい}でなく人糞^{じんふん}でしたので、回虫駆除^{かいちゅうくじょ}のために、ひまし油^{ひましあぶら}を下剤^{げざい}として飲ま^{のんで}されました。きたない話^{わたりばなし}ですが、20センチもある長い回虫^{かいちゅう}が肛門^{こうもん}から出てくることもありま^もした。栄養状態^{えいようじやうたい}が良くな^{よくな}らなかった^{かつ}のでクジラの脂^{あぶら}で作^{あつ}った不味^{まず}い肝油^{かんゆ}も飲ま^{のんで}されました。その頃は、クラスは5組^{ごぐみ}くらいあ^あって、ひとクラス60人^{むそくにん}くらいの生徒^{せいと}がいま^{いま}した。それでも教室^{きやうしつ}が足り^{たり}なくて、二部授業^{にぶじゆぎやう}にしたり、近くの寮^{りやう}を借^かりたりして勉強^{べんきやう}をしていま^{いま}した。

大道小学校^{だいどうしょうがっこう}の運動会^{うんどうかい}は盛大^{せいだいでい}でした。西大道^{さいだいどう}、大道^{だいどう}、川^{かわ}、南川^{なんがわ}、三双^{さんすう}など町内^{ちやうない}ごとに応援席^{おうえんせき}が別^{わか}れていま^{いま}した。それぞれの町内^{ちやうない}の小学校高学年^{しょうがっこうこうがくねん}、20代^{にじゅうだい}、30代^{さんじゅうだい}、40代^{よんじゅうだい}の選手^{せんしゆ}による町内対抗^{ちやうないたいかう}のリレー^{りれい}は、メインイベント^{めいんいべんと}として大變^{たいへん}な盛り上がり^{もりあがり}でした。

六浦中学^{むつらちゅうがく}は、大道小学校^{だいどうしょうがっこう}よりさらに生徒^{せいと}が多くて10組^{じゅうぐみ}を越^こえていま^{いま}した。その頃^{そのころ}、六浦中学^{むつらちゅうがく}は、金沢八景^{きんざわはっけい}の横浜市立大学^{よこはましりつだいがく}のキャンパスの中にありま^{いま}した。当時の六浦中学^{むつらちゅうがく}の近く^{ちかく}には東急車両^{とうきゅうくるま}、爆発^{ばくはつ}があ^あった東洋化工^{とうようかこう}などがあ^ありましたが、戦時中^{せんじちゆう}は軍^{いくさ}の施設^{しせつ}があ^あったので地下^{ちやう}にケーブル^{けいぶる}が埋設^{まいせつ}されてい^いて電柱^{でんちゆう}はほとんどあ^ありません^{せん}でした。その地下ケーブル^{ちやうけいぶる}のトンネル^{とんねる}にもぐ^{もぐ}って遊^{あそ}んでいたところ^{ところ}を先生^{せんせい}に見^みつか^{つか}って、よく怒^{おこ}られました。

今は、学校^{がっこう}の教育^{きやういく}について親^{おや}が先生^{せんせい}に文句^{もんく}を言^いうことが多^{おほ}いよう^{よう}です。私^{わたし}たちが育^{そだ}てた子ども^{こども}が親^{おや}にな^なってや^やっていること^{こと}なので、大きなこと^{こと}は言^いえませんが、それは少^{すこ}し考え違^{ちが}いをしていま^{いま}るのではないか^かと思^{おも}います。本来^{ほんらい}、子ども^{こども}は学校^{がっこう}では



山田陽治

なく、親が育てるものだと思います。細かい勉強は学校の先生に教えてもらう必要がありますが、普通の生活をするための基本的な考え方や躰しつけなどは親がきちんと教えるべきです。私なんか、悪いことをして、学校の先生に怒られたことを親に言うと、「お前が悪いんだ」と、また、怒られるので家に帰っても、親には何も言いませんでした。

また、鉛筆削り機えんぴつけずが悪いとは言いませんが、いざとなったらナイフで削れるくらいのことは、子どものうちに身につけてもらいたいと思います。ナイフで指を傷つけても落としてしまうわけではないのですから、刃物の扱いあつを誤ると痛くて血が出るくらいあやまのことは、子どものうちに経験させておいた方が良いでしょう。勉強は、いくつになっても、やろうと思えばできますが、子ども時代にみんなと遊ぶこと、色々な体験をすることは、その時にしかできません。勉強ばかりして家の中にひきこもっているのではなく、みんなと侍従川で魚をとったり、海の公園で泳いだりして、多少のことではへこたれない、たくましい子どもに育てて欲しいと思います。

おわり

神奈川県横浜川崎治水事務所との意見交換会

侍従川の護岸工事と堆積土の除去（掘削）工事を治水事務所が行うとの事前情報を得て、侍従会としての要望事項をまとめ、10月3日に大道コミュニティハウスで治水事務所と話し合いを行いました。

出席者 治水事務所：工務部 河川第二課 春原課長、菅原副技幹

侍従会：相川会長、長橋、細川、廣瀬、伊藤、押田

要望事項は以下の5項目です。

1. 工事は生き物に与える影響が一番少ない11月～2月に実施していただきたい
2. 葦原は是非残して置いていただきたい
3. 護岸・河床は生き物たちが生存・繁殖できる環境にしていきたい
4. 侍従川と地域小学校の環境教育との関係に配慮いただきたい
5. 工事計画案の作成に当会のメンバー参画、もしくはキーポイントで計画案を開示いただきたい

意見交換会の内容は、次号で報告させていただきます。

細川一雄

★★★ パタゴニア 《V.Y.C》 (ボイス・ユア・チョイス) 助成金交付決定 ★★★

パタゴニア・ベイサイド・アウトレットで実施した「ボイス・ユア・チョイス Fall 2010」により、助成額 150,000 円をいただくことになりました。

「ボイス・ユア・チョイス」はパタゴニアに来店されるお客さまが地元の環境問題によりかかわることができるようにと、それぞれの地域で活動する環境保護団体を来店されるお客さまに紹介し、各団体が取り組んでいる問題に焦点をあて、各ストアの環境助成金の予算の使い道をお客さんにも考えてもらうプログラムです。

トピックス

◎9/8 (木) 高舟台小学校5年生へ、侍従川の源流～海までレクチャー…山田が対応

◎9/9 (金) 大道小学校 侍従川清掃…相川会長、長野副会長、細川さん、村田さん、石渡さん、山田が対応



◎9/13 (火) 高舟台小学校5年生が侍従川で体験授業…山田が対応

◎9/26 (月) 高舟台小学校5年生の総合学習・侍従川への取り組み…山田が対応



◎10/1 (土) パタゴニア・ベイサイド・アウトレット『グラスルーツ』ふるさと侍従川に親しむ会のPR (侍従川ミニ水族館・ワークショップ) …山田が対応

◎10/4 (火) 高舟台小学校5年生の総合学習・侍従川への取り組み…山田が対応

◎10/6 (木) 大師高校の侍従川での体験授業 ⇒ …飯村さん、細川さんが対応

◎10/22 (土) 侍従川ミニ水族館づくり (大道コミュニティハウス文化祭)～侍従川で魚捕り～は雨天中止…水族館展示は実施

◎11/22 (火) 高舟台なかよしフェスティバル (高舟台小学校) 5年生が侍従川への取り組みを発表

◎11/22 (火) 笠間小学校4年生のいたち川の取り組みに、侍従川をモデルに川の環境についてレクチャー…山田が対応

◎11/30 (水) 六浦小学校3年生の侍従川への取り組みにアドバイス…山田が対応

◎12/10 (土) 大道小学校 大道ふれあい学習発表会で4年生が侍従川への取り組みを発表

◎12/10 (土) 六浦小学校 六浦フェスティバルで3年生が侍従川への取り組みを発表

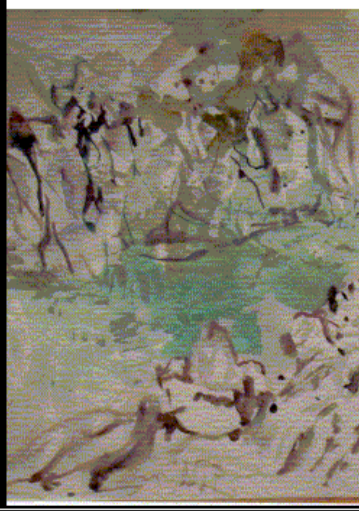


侍従川フォトギャラリー



イソヒヨドリ 西澤博厚氏撮影

本誌連載「朝夷奈の森通信 ～風の忍者より～」でお馴染みの飯村さんの
個展が12月16日にウィーンで開催されました。

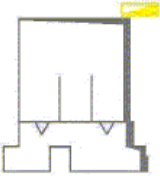


YUSUKE IIMURA

am 16.12.2011

ab 18uhr

im
nikki bogart
Verien für künstlerisches und kulturelles Austausch
Steingasse 26/1-2
1030 Wien



《さかなクン? いえいえ、ゲンゴロウくんです!》

7月16日(土)から11月6日(日)まで、小田原にある神奈川県立生命の星・地球博物館で特別展「およげ! ゲンゴロウくん～水辺に生きる虫たち～」が開催されました。

この特別展では、ご存知ゲンゴロウ博士の佐野さんが解説員としてゲンゴロウくんに扮し、ゲンゴロウを始めとする水生昆虫の魅力や危機的状況を、多くの来場者に分かりやすく説明しました。



ハゼ釣り大会

【活動報告1】

9月11日(日) 9:00~16:00

重田まさ子

毎年恒例『侍従川ハゼ釣り大会』が9月11日に行われました。参加者は51人。

この日は運悪く干潮で、ほとんどの子が釣れず、また、アクシデント(入江さん、西田さん、石渡珠羽ちゃん、ありがとうございました)もあり、早めに調理する場所(ちとせ園)へ移動。そこで釣りに再挑戦。すると、チチブが大部分ですが100匹ぐらい釣れました!

早速調理開始。小柴の漁協で働いてる遠藤さんに指導してもらいながら一緒に捌く子どもたち。下流でとれたマハゼ、チチュウカイミドリガニと合わせて天ぷらに。学生部OBの飯村さんが近隣の森からタマゴタケとノウタケを採ってきてくれたので、かなり豪華になりました。評判が良かったので、今後恒例になるかもしれませんね(笑)

一番釣れた人は、昨年引き続き相川樹くん、おめでとうございます。そして子どもたちに竿(矢竹)を採ってきてくれた細川さん、ありがとうございました。



RAC 全国大会 in 鶴見川流域

【活動報告2】

9月18日(日) 慶應義塾大学日吉キャンパス

島村眞依

9/18(日)慶應義塾大学日吉キャンパスで行われたRAC全国大会に参加しました。侍従会は「都市を流れる3kmに満たない小さな都市河川の魅力」という主旨のもと源流の森から海までの日頃の活動について発表しました。

発表者は、大森もも夏・石松未紗紀・長崎光則・深沢大地・池田周矢・石黒勇次・徳竹風樹・金子英司・金野光流・山田陽治・島村眞依でした。

練習時間があまりとれない中での発表でしたが、しっかりと発表することが出来たので良かったです。

また、他団体の発表を聞いたり分科会に参加したりといい経験もできました。

これからもこのような活動に積極的に参加して勉強していきたいと思いました。



9月定例クリーンアップ

【活動報告3】

9月25日(日) 9:00~11:30

大道橋~二の橋

細川一雄

参加者：相川澄夫、長野政治、西澤博厚、角田繁、八木場紀元、村田章夫、石塚正夫、高木之靖（パタゴニア）、金子英司、細川一雄（計10名）

台風15号が浜松に上陸し、東海・関東・東北と本州をほぼ縦断して大きな被害を出して去った4日後の作業となりました。9月の残暑も台風の影響で漸く収まってきて久しぶりに空気が爽やかに感じられます。

9月も末となり秋の気配が感じられる季節になると虫たちも活動を止める頃です。今月は、生き物が一番多く活動している区間のため春から夏の間手を着けなかった二の橋から上流の大道橋までの草刈りとゴミ拾いを行いました。

会長と副会長の両巨頭が二の橋から上流に向かって作業を開始すると、残りのメンバーは大道橋から川に降り下流に向かって作業を開始します。降り口には、先日の台風の風で落ちた銀杏の実が沢山落ちていました。

今までの様な猛暑の中の作業と違い、作業をしても滝の様な汗は出ません。久しぶりに快適な環境の中で作業がはかどります。途中で1回休みを取り、今回は刈り取った草を回収せずに次月に回収することにして作業を終了しました。

今回は台風一過後の作業のため、大きなプラスチック製の屋根板や大きな発泡スチロールの箱・傘などを回収しました。また、生ゴミが入ったビニール袋も回収しましたが、明らかに家庭ごみでした。



加倉橋下の草刈り・ゴミ拾い作業



大道橋下流の草刈り・ゴミ拾い作業



回収したゴミ（プラスチック製の屋根板、発泡スチロールの箱、傘2本、土嚢袋6袋、ポール等）

10/2(日)秋の源流の森たんけん&キノコ観察会を行いました。
参加者は、幼児2、小学生8、中学生3、大人6の計19人。

今回のガイドは、本紙でもおなじみ、初代学生部部長でもあり、キノコにとっても詳しいイイムラ画伯です。

イイムラ隊長を先頭にいざ!大道中学校裏山へ…が、キノコらしいキノコはほとんど見られませんでした。イイムラ隊長曰く「先の台風15号が海水を巻き上げ、それによって塩分の含まれた雨が降り注がれた影響で大打撃を受け、キノコが見られなくなったのだろう」…とのことでした。

が、キノコはなくとも、秋の恵みはある…山に普通のクリより小さいが美味しいヤマグリがある…と、思っていたらまだ木についたまま…(-_-)(自然は人間の都合通りにはならないのですね…)

そこで、常林寺に行き、イヌガヤの実を拾い、炒って食べました。

「おいしい!」と、子どもたちからの声。渋皮をしっかりとると本当にうまい!シイとギンナンの間みたいな味かな?

あと、ヤマノイモの蔓を探してムカゴを採取する。ムカゴをバター醤油で炒めて食べるとこれまた美味(^O^)

秋の味覚を楽しめました。

子どもたちが自発的に調理したり、小さな子をねぎらったり、大人にも気遣いしたりと…子どもたちの成長も見られたような気がしました。

おなかも心も、恵みをいただいた秋の一日でした。



とんぼ池エコアップ（大掃除）

【活動報告5】

10月22日（土） 8：30～15：30

押田 健

池掃除にうってつけの好天に恵まれた秋の一日、46人のボランティアが大道小のトンボ池に集いました。

まずは、4年生が中心になって、小魚をすくいあげ、池底にたまったヘドロをどんどんかきだしました。ザリガニは大小含めて100匹近くも捕獲することができました。大収穫です。

大人も子どもも泥だらけになって作業が進んでいきます。昼時には豚汁とおにぎりで一休みし、午後からは葦船の解体作業も平行して行いました。作業が終わるころには、すいとんの差し入れ。体がぽかぽか温まりました。とにかく子どもたちのはたらきぶりと、大人も子どもに負けじと力を出し切って汗をかいていたのが印象的でした。

次の日、大人は筋肉痛におそわれましたが、子どもたちは平然と外で遊んでいて子どもの回復力に驚かされました。

リフレッシュしたトンボ池は静かに冬を越し、にぎやかな春の訪れを待ちます。



10月定例クリーンアップ

【活動報告6】

10月23日（日） 9：00～11：30

朝比奈橋～二の橋

細川一雄

参加者：長橋輝明、西澤博厚、八木場紀元、村田章夫、石渡博、廣瀬隆夫、成島みゆき、細川一雄（計8名）

肌寒い日が続き秋本番を思わせる日から一転、夏日を思わせる当日、先日から降り続い

ていた雨が作業開始前に上がり、暑くも寒くもない絶好の日和となりました。

廣瀬さんに上流域（朝比奈橋～二の橋間）のゴミ拾いを担当してもらい、他のメンバーはちとせ園から川に下り、中野橋～二の橋下流までの草刈り作業を行います。

大道小学校の先生から授業で「じゅずっこ」の実を使うので完全に実が乾くまで残して置いてほしいという要請があり、先月刈り取らなかった「じゅずっこ」の草を刈り取ります。



第二山王橋上流<草刈り前>



第二山王橋上流<草刈り後>

また、水深が深く先月草刈りが出来なかった第二山王橋上流の草を胴長を着けて川に入り刈り取ります。羽板から外れると更に深いため羽板から落ちないように慎重に作業を行います。この場所は川の流れが澱んでいるため水が流れず、刈った草が下流に流れていかないため回収できないので、長い棒で草を下流側に押していきます。この作業は、なかなか力が要る作業で、しばらくすると腰が痛くなる状況でした。

やっと、集めた草をビニール紐で束ね、次月に回収するため川の中州と両側の陸地においておきました。



刈り取った草を束ねています



回収したゴミ9袋（事前に回収したゴミ3袋含む）



回収した刈り取った草

大道コミュニティ文化祭 ～侍従川ミニ水族館～

【活動報告7】

10月23日(日) 10:00～15:00

成島みゆき

毎年行われている大道コミュニティ文化祭に、今年も参加させていただきました。

展示する生きものを集めるための魚とりは雨で中止となったため、1日目は山田さんが、2日目は佐野さん、埜田(たすく)くん、山田さんが色々な生きものを捕獲しました。

展示した生きものは、アユ、ウナギ、ホトケドジョウ、メダカ、マハゼ、チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ピリンゴ、コシボソヤンマ(ヤゴ)、ハグロトンボ(ヤゴ)、コオニヤンマ(ヤゴ)、テナガエビでした。また、ミシシッピーアカミミガメのタッチングコーナーも開きました。



展示では、こんなにたくさんの種類の生きものがあるとは思わなかったと驚かれることが多かったです。また、アユやウナギ、大きなテナガエビが話題で、みなさんから「美味しそう」という感想もちらほらいただきました。これを機に、侍従川や侍従川の生きものに興味を持って頂けたら嬉しいな、と思いました。



応援に来て下さった細川さん、廣瀬さん、ありがとうございました。

11月定例クリーンアップ

【活動報告8】

11月27日(日) 9:00～11:30

大道東橋～朝比奈橋

細川一雄

参加者：長野政治、西澤博厚、長橋輝明、石渡博、石塚正夫、高木之靖(パタゴニア)、廣瀬隆夫、寺尾勝廣、長崎光則、細川一雄(計10名)

地球温暖化のためか分かりませんが、11月下旬にしては暖かい日が続きました。先月草刈り作業が一通り終わったことと、11月14日～16日までの3日間、治水事務所が行った草刈り(大道東橋～大道橋まで、護岸を含め)作業により、草が綺麗に刈り取られ、地表が露出したため今回はゴミ拾いを重点的に行いました。



長島橋の草刈り（治水事務所）11月14日～16日

加倉橋の掲示

メンバーを3手にわけ、1グループは大道東橋から上流に向かい、2グループはこの橋（ちとせ園から上流に向かい、3グループは地蔵前橋から川に下り、朝比奈橋まで遡ってから下流に向かってゴミ拾いを行いました。

今回は山王橋上流のプラスチック製の大きな蓋や板、加倉橋下流の発泡スチロールの箱やコンビニ袋に入った状態のゴミなど大型のゴミが多く回収されました。

治水事務所が行った草刈りの結果地表が大きく露出したため、今まで見つからなかったガラス片が非常に多く見つかりました。小学生が裸足で川に入る時があるため、足を切らないように小さなガラス片も見逃さないように回収しました。また、傘が5本と植木用に使う支柱が何本も回収されました。傘は家に帰る途中で壊れたものを、支柱はわざわざ川に持ってきて捨てる事もないと思いますので、川に面した家から捨てられるのか、いずれにしろ地元を流れる川をゴミ箱と思っている人が多いのは非常に残念で自分たちの無力感を覚えます。

大道橋の下で見つけた空き缶を拾って水を切っていると、中のごそごと動くものがあります。見ると中に魚が入っていました。小さな隙間でも魚が棲みかになっている事が分かりました。出来たら、小さな隙間がいっぱいあるもの（コンクリートなど）を川に沈めると魚が増えてくるかも知れません。



大道橋下流のゴミ（確信犯?）



回収したゴミ9袋（大きなプラスチック製の蓋と板、植木の支柱と傘）



12/11日に「冬の源流の森たんけん&リース作り」が行われました。参加者は28名(幼児3、小学生14、学生2、大人9)その内、初参加は18名とフレッシュな顔ぶれ!

大道小学校を出発して朝夷奈切り通しに到着。するとすぐにアリジゴクやアライグマの足跡が発見され、みんな夢中になって観察していました。

次にアオキの実飛ばし。男の子たちがものすごい飛距離を飛ばせば、初参加のガールスカウトたちは美しい放物線を描いて…。飛んでいく実ひとつひとつに個性が感じられました。

三郎の滝では、ホトケドジョウやカワトンボのヤゴなど、水棲生物も観察しました。中でもハリガネムシは(ある意味?)大人気でした。

即席で作った竹笛を吹きながら頂上に着くと、そこに待っていたのはパノラマの景色と綺麗な富士山!ひたすらカメラのシャッターを切り続ける人、目に焼き付けるよう静かにじっと眺め続ける人。それぞれの形で、それぞれのアルバムに残していました。

そんな素敵なロケーションで昼食をおいしく食べた後は、全員で協力して集めたドングリ(アラカシ)や、つるを使ってリース作りを開始。

もう一方では石黒勇次君指導の下、弓矢作り。子どもたちが横一列に並んで、一斉に弓を構える光景は、まるで戦国時代にタイムスリップしたような迫力がありました。

帰り道、フユイチゴやアラゲキクラゲなど面白い物を発見しつつ、一部滑り落ちながらも(?)全員無事に下山する事が出来ました。

常連の子たちが、自分から進んでみんなに教えたり気遣ったり…。

とても頼もしく見えた一日でした。参加者の皆様、お疲れ様でした。





だより

《お月見の会》

10月23日（日）夜、150人を数える地域の方々が、和ろうそくでライトアップされたトンボ池の周りに集まってお月見団子をいただきながら、お囃子や歌を楽しみました。



《大道よもやま話》

大道村は、ほぼ完成したので、「ソフトの部分」で地域貢献をと考え、「大道よもやま話」が始まりました。

地域に伝わる昔話や言い伝えを記録して残していく活動です。第1回は、三艘の大川 基義さんに、第2回は、川の須藤 忠さんに、第3回は、大道の青木 テツ子さんと鈴木 スエさんにお話しいただきました。



昔の大道六浦の様子や侍従川の様子、まちの移り変わりや年中行事など、興味深いお話をたくさん伺うことができました。

次回は、1月28日（土）を予定しています。
是非、みなさん参加してください。

佐野真吾が語る侍従会の思い出

じじい会シリーズ① -キャロットの謎は事務局長が握る!?-

皆さんもよくご存じの通り、今の侍従会が20年近く、衰えることなく活動できているのは、一つの理由として元気で強力なおじさんたちの存在があったからこそです。そしてそんな元気で強力なおじさんたちの存在感から、侍従会は、一部の人たちから“じじい会”と呼ばれているそうです。私は個人的にこのネーミングセンスを気に入っているのですが、今回から“じじい会シリーズ”ということで、私が印象に残っているおじさんたちとの思い出話を少しずつ紹介していこうと思います。

昔、六浦駅の近くに“キャロット”という子どもたちに大人気の駄菓子屋さんがありました。そこに行くといつも、気さくで明るいおばさんがいました。また、子どもたちの間では、「キャロットで売っているパチンコの威力は最強だ!」という噂や「おばさんがサービスしてくれた!」というような自慢が話題になるほど近隣学区では有名な駄菓子屋さんでした。しかし、キャロットは、私にとって不思議な点がいくつかありました。一つは稀にフナやハゼが入った水槽が展示されること。もう一つは、なぜか侍従会に入会する場合はキャロットに行かなければ入会申込書が手に入らないことでした。キャロットのおばさんと侍従会はどういう繋がりがあるのだろうか?私はその接点がまったく分かりませんでした。しかし、その謎が解ける前に、残念ながらキャロットはお店を閉めてしまったのです。

さて、話は2002年の夏に移ります。この年、中学2年生であった私は、夏休み中、タガメの研究(研究と言えは聞こえがいいが実際のところ趣味である)に没頭し、理科のコンクールで横浜市長賞



を受賞したのでした。当初本人はあまり実感がありませんでしたが、侍従会のおじさんたちはすごく喜んでくれました。おじさんたちに褒められると私も段々と嬉しくなり満更でもなくなってきたのですが、この時のことがきっかけで、侍従会発足当時からご活躍されているおじさんたちとも顔見知りになり、可愛がっていただけるようになりました。そしてその中でも特によく声をかけてくれたのが事務局長の長橋さんでした。

長橋さんは、口調や雰囲気なんとなくダンディでちょっとカッコイイおじさんでした。ちなみに成島さんに言わせると“今まで会ったダンディなおジ様ランキング”のベスト3に入っているそうです。しかし、子どもの頃に友達と女風呂を覗きに行ってバシた話をしてくれたり、4コマ漫画（侍従会ストーリー）にも登場するようなお茶目な一面があったり、子どもの私からすればお話しするのがとっても楽しいおじさんの一人でした。

ところが、ひょんなことから衝撃の事実が発覚するのです。ある時、偶然帰りの電車の中で長橋さんと会って、一緒に帰って来たことがありました。そして、六浦駅で一緒に降り、少し歩いたところで突然、「じゃまた！」と言いながら駄菓子屋キャロットに入って行ったのです。私は驚きました。長橋さんの家ってキャロットなの？じゃあキャロットのおばさんって長橋さんの奥さんのの？翌日、私は、学校でタクマ（同級生で侍従会の仲間）にその話をしました。すると、知らなかったの？というような顔をされて少し悔しい思いをしました。こうして、なぜフナやハゼの入った水槽と侍従会の入会申込書がキャロットに置いてあったのか、謎が解けたのでした。それはそうです。キャロットが侍従会の事務局だったんですから。



先日、この話を書くにあたり、長橋さんに「今回の連載の中で、長橋さんの話を書いていいですか？」とメールを送りました。すると、「私の話ってどういうの？私が書くのではなくて佐野くんが書くの？」というメールが返ってきました。いきなり佐野が書くと言い出して心配されたのかもしれませんが、変なことは書いていませんよ(?)。

というわけで、今回はじじい会シリーズ第1段ということで、事務局長 長橋さんのお話でした。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく

侍従川生き物図鑑 No.14

～ セマダラコガネ ～

(コガネムシ科)

学名：Blitopertha orientalis

体長：8～13.5ミリ

分布：中流域から上流域

初夏から出現する小さなコガネムシで、成虫は多くの種類の広葉樹の葉を食べます。一見地味ですが、背中模様には様々なものがあります。夜間住宅地の街灯などに多数飛んできている姿を見かけます。



横浜市金沢区にて

幼虫はシバ、農作物、苗木の根を食べ、害虫扱いされるようです。

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ オキナワチョウトンボ ～

(トンボ科)

学名：Rhyothemis variegata imperatrix Selys

体長：♂ 38ミリ ♀ 33ミリ

分布：沖縄諸島、先島諸島、大東諸島

ベッコウ色の羽を持ったトンボで、別名“ベッコウチョウトンボ”とも呼ばれています。沖縄本島では3月～11月まで見られ、時期によって群れで飛行したり、オスが単独で縄張りをパトロール飛行していることがあります。



名護市にて

繁殖期にオスは水面に卵を産み落とすメスの周囲を飛び、無事産卵できるよう警護する習性があります。

監修：熊井（沖縄在住）

本年、9月21日の台風15号は強いえ海水混じりの暴風雨で周辺の森はさまざまな影響が出た。

キノコ観察会でも少なさに驚かれたようです。10月15日頃、数回の雨で土が回復し、豊作になります。

クリフウセンタケやウラ紅ホテイシメジも沢山出て、紫シメジは12月でも出ています。

朝比奈周辺の雑木林は種類も多く、秋キノコも何回にもわけ紹介になります。

ハダイロガサはコナラやスダジイ下にクリフウやウラ紅の始まりの頃出て、味はさらりとして万能品だ。

畑シメジは道や畑や公園のへりなど、土に埋もれた枯れ木や枝等につく。だから人工栽培品もでてきた。

もちろん最高級の歯切れと味のしめじである。

スギ枝タケは杉林の数少ないキノコでエノキタケのような食味で利用価値がある。

スッポントケはササやぶ内に出る。グレバという悪臭のする胞子の塊ははずしてもちかえり、中華料理の具に利用されている。

コテングタケモドキは雑木林で夏～秋よくみられる。天狗タケの仲間の危ない毒キノコなので間違えないよう見分けられるとよいですね。



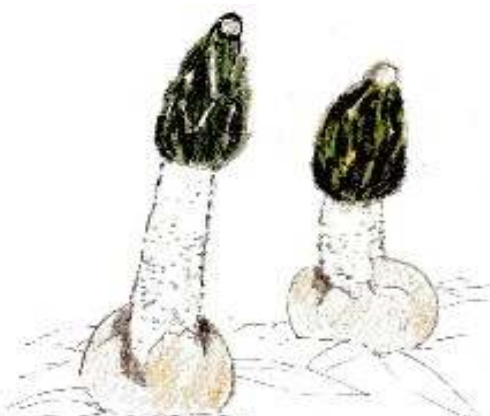
ハダイロガサ (食)
ヌメリガサ科



ハタケシメジ (食)
キシメジ科



スギエダタケ (食)
キシメジ科



スッポントケ (食)
スッポントケ科



コテングタケモドキ (毒)
テングタケ科



虫のきょういく座談会 ～とりあえずフナムシが優勝～

参加者：山田・西井・佐野

2011年12月11日、この日は侍従会で“冬の森たんけん”がおこなわれた。そして終了後、佐野は子どもたちを送り、18:45分頃大道の“COCOS”に入店した。そして、入り口に一番近い席に二人の男が座っているのをすぐに見つけた。

佐野「どうも遅くなりました～」

山田「お疲れ～」

佐野「どうも西井さんお待たせしました。もう話は盛り上がっちゃってますか？」

今日のゲストは横浜市戸塚区にお住まいの西井氏である。西井氏は今日初めての参加である。

山田「今まで環境教育論と今後の侍従会とPくん（西井氏のあだ名）の生い立ちについて熱く語りあってたよ！」

西井「え？そうでしたっけ？（笑）」

佐野「環境教育論とかわざと難しく言ってないですか？（笑）」

今回のゲスト西井氏は、動物園関係の仕事を希望されているようで、動物全般に興味を持たれている。気さくで誠実感ある方で、山田氏が侍従会にスカウトしようと企んでいることを佐野は感じ取った。そして佐野はエッグハンバーグプレートとドリンクバーを注文したあと早速話題を切り出した。

佐野「そういえば今月の会報に載せる座談会やらなきゃならないんですよ！今回は是非西井さんに参加してもらいましょう！！」

西井「座談会ってなんですか？」

山田「よしやるか！Pくんさっき渡した会報みてみて！そこに書いてあるから☆」

こうして座談会が始まった。筆者佐野は、せっかく西井さんに来ていただいたのだから、動物や佐野も最近興味をもっている野生哺乳類の座談会にしたかった。しかし…話題はなぜか“ダンゴムシ”の話になっていった…。

西井「コシビロダンゴムシは普通にいるオカダンゴムシみたいにお尻が三角じゃないんです。」

山田「三角ってどういうこと？お尻ってどこ？」

西井「この部分です！（西井氏絵を書く）」

佐野「ああ確かに！オカダンゴムシは三角かもしれない！」

山田「う〜ん…よく分からないかも…。ところでコシビロダンゴムシって珍しいの？」

西井「コシビロダンゴムシの中でもまた色々な種類がいるそうですよ。」

佐野「へえ〜！僕はハマダンゴムシ（海辺の砂浜にいる種）が好きですよ。初めてみた時はデカくて感動しました☆なんかエビ・カニ以外の脚が8本以上の生物ってわりかし苦手なんですけど、ダンゴムシだけは可愛いと思います☆」

山田「俺は背中が丸い生きものより平べったい生きものの方が好きだからダンゴムシよりワラジムシの方がいいな！」

佐野「出た！前から言ってますよね？（笑）じゃあ甲殻類だったら何が一番カッコイイですか？」

山田「フナムシ！！Pくんどう思う？」

西井「いやあ…（苦笑い）僕はグソクムシとかがカッコイイと思います。」

佐野「僕は結構ヨコエビとか好きですよ！」

山田「ヨコエビは大地に足を付けてないからダメだ！だったらまだミズムシの方がいい！」

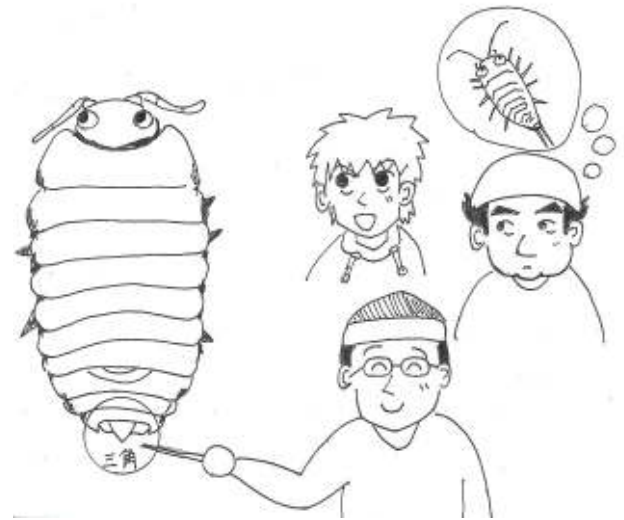
こうして座談会はグダグダな方向に進んでいった。そしてグダグダ感に気付いた山田氏が、いつものごとく話をまとめに入る。

山田「じゃあとりあえずフナムシが一番カッコイイってことで書いといて！（笑）」

佐野「分かりました（笑）」

「いいんかい！」読者の皆様のあきれたツッコミが聞こえてきそうである…。そして初参加の西井氏が訳も分からないまま、座談会に参加させられ、まさかこの会報にその時のグダグダな会話が載せられたとは夢にも思うまい。是非これに懲りず、次回も参加していただけることを願うばかりである。

（おわり）



侍従川定例調査報告 学生部

9月9日（金） 晴れ

【二の橋～長島橋】（中流域）10:00～11:00

生き物：アユ、チチブ、ウキゴリ、ビリンゴ、クロベンケイガニ、テナガエビ、コヤマ
トンボ（幼虫）、コオニヤンマ（幼虫）、コシボソヤンマ（幼虫）、カワニナ

備考：大道小学校侍従川清掃実施時に捕獲した生き物

9月13日（火） 晴れ

【大道橋～大道東橋】（中流域）9:00～12:00

生き物：ヒバカリ、スズキ、チチブ、ウキゴ
リ、スミウキゴリ、ビリンゴ、クロ
ベンケイガニ、フタバカクガニ、ミ
ソレヌマエビ、コオニヤンマ（幼虫）、
コヤマトンボ（幼虫）、ガガンボ（幼
虫）、アメンボ、カワニナ



備考：高舟台小学校5年生の侍従川での活動時に捕った生き物

9月26日（月） 曇り

【大道橋～大道東橋】（中流域）9:00～11:45

生き物：アユ、モツゴ、マハゼ、チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリンゴ、シマヨ
シノボリ、モクスガニ、テナガエビ、ミソレヌマエビ、カワトンボ（幼虫）、
ハグロトンボ（幼虫）、ヤマサナエ（幼虫）、コシボソヤンマ（幼虫）、アメン
ボ、カワニナ、モノアラガイ

備考：高舟台小学校5年生の侍従川での活動時に捕った生き物

10月23日（日） 曇り

参加者：埜田、佐野、山田

【大道橋～大道東橋】（中流域）9:00～12:00

生き物：アユ、メダカ、ウナギ、マハゼ、チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリンゴ、

モクズガニ、クロベンケイガニ、ミソレヌマエビ、テナガエビ、ハグロトンボ
(幼虫)、コヤマトンボ (幼虫)、コオニヤンマ (幼虫)、コシボソヤンマ (幼
虫)、カワニナ

備考：捕った生き物は大道コミュニティハウス文化祭で、侍従川ミニ水族館として展示

★特別調査『アユ産卵状況&産卵場所調査』

12月5日 (月) 晴れ 15:45~16:40 二の橋~大道東橋 (中流域)

12月7日 (水) 晴れ 15:30~16:30 二の橋~大道東橋 (中流域) …大道小学校4
年生有志 (アユチーム) と

調査方法…投網と目視

結果…両日ともに確認できず

備考：産卵場所は、淡水域の瀬で底が砂利であることが条件なので、底が砂か礫がほと
んどの侍従川では産卵していない可能性もある (あるとしたら礫の場所か)。

『森の遊び人・やまだようじの自然遊び教室』 その4「ブーブー笛」

竹は真っ直ぐで、中が空洞な性質のため、昔から様々な楽器に利用されてきた。
このブーブー笛は、フィールドで簡単にできる笛です。



〔豆知識〕 タケノコから成長して、皮が落ちてなくなっていくのがタケ。皮がいつまでも残っているのをササと区別するが、今回使用した篠竹 (メダケ) は、竹と名前がついているが、皮がついたままなのでササです(^_^)

事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

◆1月～3月の活動予定◆

◎葦船学校

「葦選別・葦束づくり作業」

☆1/21(土)、1/22(日)

両日とも 9:00～16:00 大道小学校

「葦船建造」

☆1/28(土) 8:00～16:00 大道小学校

◎定例クリーンアップ 1/22(日)、2/26(日)、

3/25(日) 9:00 ちとせ園集合 雨天順延

◎2/12(日) 『ネイチャークラフト教室～つるでかご作り～』 9:00～16:00

◎第26回横浜の水辺と緑を考える子ども会議

日時未定…子どもたちによる実行委員会も事前開催(日時未定)

去年の葦船



★ 学生部の活動は別途お知らせします。

★ 活動の詳細(持ち物など)はホームページをご覧ください。

<http://jijyukai.web.fc2.com/>

《生き物(魚、昆虫、鳥)の写真募集のお知らせ》

侍従会は、来年度20周年を迎えます。

20周年記念事業として、侍従川生き物図鑑を作成します(図鑑は、ホームページで公開します)。そこで、侍従川図鑑に載せる生き物の写真を募集します。

ジャンルは、魚、昆虫、鳥です。

以下の送り先までどしどし送ってください。

送り先：jijyukai@gmail.com



《編集後記》 今年3月の東日本大震災に9月の台風15号と災害の多い1年でしたが、侍従会の活動もほぼ予定どおり行うことができ、会報の編集も無事に終わって、何とか年を越せそうです。来年はいい年にしたいですね。皆さまどうぞよいお年をお迎えください。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5-23-26

長橋 輝明

TEL&FAX: 781-4042

e-mail: jr-nagahashi@seaple.icc.ne.jp